

『国連研究』第18号 原稿募集

編集委員会

日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第18号(2017年6月刊行予定)の原稿を下記の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。

I. 募集原稿の種類

1) 特集論文

18号の特集テーマ:「多国間主義の展開」

(趣旨説明)

多国間主義とは、ラギー(John Gerald Ruggie)の言葉を借りれば、「行動の一般化された原則に基づき、3カ国以上の国家間の関係を調整する制度的形態」とであるとされる。貿易、安全保障、環境など、地球規模での様々な課題を解決する上で、国際社会は様々な制度や組織を生み出してきたが、それはとりもなおさず、多国間主義の歴史であった。国際機構、とりわけ国際連合は、その多国間主義を具現化したものであり、多国間主義のもとでレジーム形成が進むとともに、グローバル・ガバナンスへと至る道筋が描かれる。

国際協調により地球規模の諸問題の解決を志向する多国間主義だが、それを脅かすのが大国による単独行動主義であり、特定国との緊密な関係を重視する二国間主義であると言える。そのため、国際政治経済場裏で影響力の小さい小国やミドル・パワーは、同じ志の国々(like-minded countries)と協力して、国際機構における規範形成を行ってきた。このようなミドル・パワー外交は多国間主義を利用した一例であると言える。

今日、中国やインドをはじめとする新興国が台頭し、BRICS開発銀行やアジアインフラ投資銀行(AIIB)といった新たな組織・制度が生み出されている。このことが、欧米の先進国主導で構築されてきた制度・組織への挑戦であるのか、それとも補完的役割を担うものであるのかについては、様々な議論があるが、多国間主義の文脈でこの動きを捉えることもできるだろう。また、ヨーロッパの安全保障を構築するために、第2次世界大戦後に設立されたヨーロッパ共同体(EC)は、その後、ヨーロッパ連合(EU)にまで発展してきたが、21世紀を迎える前後から不協和音が生じるようになり、離脱の動きを見せる加盟国が出てきている。多国間主義が新たな挑戦を受けていると捉えられるだろう。その一方で、東南アジア諸国連合(ASEAN)は2015年12月末をもって経済共同体となった。ここには多国間主義のさらなる深化が期待されている。このように多国間主義を論じる際に、普遍主義(universalism)と地域主義(regionalism)も論点の一つとなり得よう。また、マルチ・ステークホルダーという用語が用いられるようになるなど、国家以外の主体が関与を深める中で、「多国間主義」そのものを見直す必要性もあるだろう。

このように多国間主義には様々な諸相が存在する。多国間主義を推進する力は何か、どうすれば維持できるのか、何が多国間主義を脅かすのかなど、様々な論点が想起されるだろう。グローバル・ガバナンスの実現が目指されるなか、その基礎である多国間主義のこれまでの発展の経緯を振り返るとともに、今後の展望について考えてみたい。

2) 実務家等の視点に基づく政策レビュー

『国連研究』では、実務家の方々による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

3) 独立論文

特集テーマとかかわらない書き下ろしの論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。

4) 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書(和文・欧文)を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

5) 書評

一冊の編著書(和文・欧文)が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

II. 応募方法と締め切り

1)から4)の論文タイトルおよび論文趣旨(800字程度)を、2016年8月7日(日)までに下記アドレスまで電子メールでお送りください。また、5)の書評執筆申し込みまたは書評対象書候補の推薦については、2016年7月29日(金)までをお願いします。

北九州市立大学外国語学部 大平剛(『国連研究』編集主任)
E-mail:ohira-t@kitakyu-u.ac.jp

III. 採否

1)から4)に関してお送りいただいた論文タイトルと論文趣旨ならびに5)の書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦を検討し、まず「執筆」の可否を決定してご連絡いたします。

「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11月20日(日)までに完成原稿をご提出ください。提出原稿は、編集委員会が依頼する査読を経たのち、修正が必要な場合には修正をお願いした上で、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

IV. 応募ならびに完成原稿の提出締め切り日程

- ・書評の執筆申し込みと対象文献の推薦 **2016年7月29日(金)**
- ・論文(特集論文、独立論文、政策レビュー、書評論文)応募(タイトルおよび趣旨) **2016年8月7日(日)**
- ・完成原稿(特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文、書評) **2016年11月20日(日)**
- ・『国連研究』第18号発刊予定 **2017年6月**

V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は学会ウェブサイトに掲載されていますのでご覧ください。